

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	888	新堂駅周辺施設公園管理費	会計	01	一般会計	
			款	08	土木費	
			項	04	都市計画費	
			目	05	公園費	
基本 施策	28	緑化を進め、公園や緑地を整備する	細目	383	公園施設維持管理経費	
			細々目	02	新堂駅周辺施設維持管理経費	
行革大綱の重点事項番号						
担当部署	コード	550100	担当者 氏名	高橋大輔	連絡先	45 - 9119 (内線)
	名称	伊賀振興課				

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	地域住民や鉄道利用者	※対象件数
成果(どうする)	快適な環境を提供できる。	
根拠法令・要綱等	地方自治法	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	地域住民や鉄道利用者の利便施設及び憩いの場を提供するため下記業務を行った。 ・公園芝生管理業務 ・便所清掃業務 ・公園及び駅前駐車場清掃業務	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	新堂駅管理商会
2 配置人員	人
3 年間運営費	1,924 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
芝生管理面積		㎡	目標 2470	目標 2470		
			実績 2470	実績 2470		
施設清掃回数		回	目標 366	目標 365		
			実績 366	実績 365	365	365

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
管理作業実施率		作業実施施設数/要管理施設数	%	目標 100	目標 100		
				実績 100	実績 100		
苦情件数		利用者の満足度をはかる指標の一つになりえる	件	目標 0	目標 0		
				実績 0	実績 0		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計 (A)	2,070	1,924	955					
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	2,070	1,924	955					
事業投入人件費 (B)	0.5 人	3,600	0.5 人	3,600	1 人	0	1 人	0
フルコスト(A)+(B)	5,870	5,524	955					

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	環境維持するため適切な実施、事業費の確保
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 予算確保でき、事業の成果もあり。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	藤澤義彰
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 周辺整備と調和のとれた公園管理が必要である。平成22年度より芝生管理は都市計画課業務になった。
現時点における課題、その他	特になし
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	